

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|--|---|--------|-----------|--|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 87.5% | 0.0% | 12.5% | ・配置等を工夫し、空間を有効に使っている ・活動の多いお子様は大きいお部屋で動けるように、活動の少ないお子様はもう一つのお部屋という形で2事業所を分けているところ |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 87.5% | 0.0% | 12.5% | ・看護師、PT、児発管、保育士、児童指導員と多職種が連携している。人数もスタッフ:児童=1:1となるように配置されている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 75.0% | 12.5% | 12.5% | ・車いすで移動していても段差で引っかかるなどはない。歩けるお子様は階段昇降の練習もでき、歩行訓練も可能。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 50.0% | 37.5% | 12.5% | ・目標設定に関して上長との関わりが増えてきたと思う ・定期的なミーティングの開催 ・現在もPDCAを行っているが内容面でさらに良いケアの提供のためにどのようにしていくかを深く考えていく。また共有方法を改善し誰でもいつでも最新の目標や改善項目を共有できるようにしていく。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 50.0% | 25.0% | 25.0% | ・LINEを活用し意向を聴取したり、適宜アンケートを実施し意向調査をしている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 75.0% | 12.5% | 12.5% | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 12.5% | 75.0% | 12.5% | ・どのような外部評価を行っているかが不透明 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | ・専門職による定期的な勉強会の開催 ・社内外での研修を複数設けている。会社の目的・目標や自己研鑽、専門知識の勉強会など多くの研修を実施し、職員の質の向上に努めている。専門的な知識だけではなく、自己研鑽も含め学びが多いのが弊社の特徴であり、たくさん研修が用意 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 50.0% | 50.0% | 0.0% | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 87.5% | 12.5% | 0.0% | ・ミーティングやシステムを使い、現在のプログラムだけでなく、専門知識を持った職員による標準化を図るようにしている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 62.5% | 25.0% | 12.5% | ・子ども専門のPTもおり現在の課題や目標を明確にし、そこに対してのプログラムを実践。また適宜利用者様の現状を再評価し新しいプログラムをできるようにしている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 62.5% | 37.5% | 0.0% | |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 62.5% | 25.0% | 12.5% | ・療育の観点や保育の観点から、集団活動を取り入れたり、普段は個別のリハビリを実施し、個々の能力の向上と、集団活動から得られる、本人の課題などを分けるようにしている。 | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|--------|-------|-------|--|
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 62.5% | 37.5% | 0.0% | ・職員間での打ち合わせや、個別に現状をディスカッションし支援に取り組んでいる。 しかしより良い活動にするためには、現状で満足せず、より良い方法を探し、常に改善していくことが必要。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 50.0% | 37.5% | 12.5% | ・普段から、今日あった出来事をコミュニケーションを通し、共有、ディスカッションをするようにしている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 87.5% | 12.5% | 0.0% | ・支援記録を取り、次の支援につなげるようにしているが、今後、この支援記録をさらに活用できる方法を現在考えている。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 50.0% | 50.0% | 0.0% | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 75.0% | 12.5% | 12.5% | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 62.5% | 37.5% | 0.0% | |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 87.5% | 12.5% | 0.0% | |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 12.5% | 75.0% | 12.5% | ・連絡体制はあるが、さらに質問したり、もっと密に関係をつくれるようにしていきたい。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 25.0% | 12.5% | 62.5% | ・今までに卒業となったお子様がおらず、今年から3年生が卒業し連携をしていく。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 50.0% | 37.5% | 12.5% | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 12.5% | 12.5% | 75.0% | ・現在コロナ禍で難しいが外部の子供や通所の高齢者と関わる機会があってもよいのではないかとと思う ・今後そのような機会をつくっていききたいがまずは子供の活動をより広げていくことを優先している。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 37.5% | 50.0% | 12.5% | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | ・送迎時に保護者と会話したり、LINEを通して普段の利用者様の状況を文書と画像で共有している。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 50.0% | 0.0% | 50.0% | ・能力の獲得や回復にともないステップアップの助言ができていくように思う |
| 保護者 | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 87.5% | 12.5% | 0.0% | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|--------|-------|-------|--|
| への説明責任等 | ⑳ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | ・助言や支援をできる限りするよう心がけているが、さらに支援できるように専門知識などをさらに学んでいく必要がある。 |
| | ㉑ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 37.5% | 12.5% | 50.0% | |
| | ㉒ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 62.5% | 37.5% | 0.0% | |
| | ㉓ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 62.5% | 25.0% | 12.5% | |
| | ㉔ | 個人情報に十分注意しているか | 87.5% | 12.5% | 0.0% | |
| | ㉕ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 87.5% | 12.5% | 0.0% | |
| | ㉖ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 25.0% | 50.0% | 25.0% | |
| 非常時等の対応 | ㉗ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 62.5% | 25.0% | 12.5% | ・周知もしているが、勉強会などを実施し、実際の場面で対応できるようにしている。 |
| | ㉘ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 37.5% | 50.0% | 12.5% | ・勉強会などを実施し、実際の場面で対応できるようにしている。 |
| | ㉙ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 37.5% | 37.5% | 25.0% | |
| | ㉚ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 50.0% | 50.0% | 0.0% | |
| | ㉛ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 62.5% | 37.5% | 0.0% | ・基本持参の為指示書に記載なし |
| | ㉜ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | |